< 平成 2 7 年度 業務状況評価シート(施設所管課用)>

1 指定管理施設の概要

施設名	射水市営住宅等(市営住宅・特定公共賃貸住宅・共同施設)		
施設所管課	都市整備部建築住宅課		
指定管理者	株式会社ホクタテ		
指定期間	平成26年4月1日 ~ 平成29年3月31日		

2 施設の利用状況、受付窓口開設日数

前年度利用実績	平成 27年度利用実績	対前年比(%)	受付窓口開設日数
170人	200人	117.6%	255日

3 管理経費の収支、収支率、利用者一人当たり管理コスト

区分		前年度()	平成 27 年度()	差引(-)	
収入 (a)		26,931,561円 27,532,329円		600,768円	
	指定管理料	17,114,400円	17,114,400円	0円	
	修繕料	5,397,000円	5,397,000円	0円	
	退去修繕本人負担金	4,420,130円	5,010,880円	590,750円	
	その他	31円	10,049円	10,018円	
支出。	(b)	29,970,335円	27,256,068円	-2,714,267円	
指定管理 収支(a-b) -3,038,774円			276,261円	3,315,035円	
収支の	収支の比率 (平成 27 年度の収入額÷支出額×100%) (a÷b×100) 101.0				
	実質支出額 (指定管理支出	64,777,618円			
3	^{参考} 実質収入額	119,297,283円			
	実質収支の	184.2%			
利用者	利用者一人当たり管理コスト(実質支出額(c)÷利用実績人数) 161,138.4円 / ノ				

4 アンケートの実施結果

実施期間	H28.3.	20 ~ H28.3.2	5		回答数		159件/配布350件	
(%))	
アンケート内容	十分 満足	ほぼ 満足			やや 不満		ても 満	< アンケートの分析結果 >
職員の対応	50.4	38.7			6.7	4	.2	十分満足・ほぼ
修繕点検業者対応	45.7	40.0			8.6	5.7		満足を合わせた 数が各項目とも
電話対応	52.9	28.6			10.7	7	. 9	8割を上回って
訪問時間	93.7				6.3		おり、適正な業 務を行っている	
修繕依頼の有無	なし	1回	2~	5回	6~10回	11回	以上	と評価できる < 今後の課題や改善点 >
	42.1	30.5	20	.1	0.6	6	. 7	
入居者から指定 管理者への評価	十分 満足	ほぼ 満足			やや 不満		ても 満	
	40.8	44.8			8.8	5	. 6	

5 評価表

評価項目	評価内容	評価		
A市民サービス	施設の利用等が、公平かつ適切に実施されているか。			
	適正な人員配置がなされているか。	AA		
	職員の教育、研修等は適切に実施されているか。	Α		
	設備・備品の提供・貸出しは適切に行われているか。	А		
	窓口及び案内等で迅速かつ適切な対応・接遇がなされているか。	AA		
	苦情・要望等への適切な対応及び必要に応じて市への報告はされているか。	А		
	利用者アンケートを実施し、その結果は妥当であったか。	AA		
B事業展開	施設の設置目的に沿ったサービスが、独自のノウハウを生かし提供されているか。	А		
	利用者数は適切な水準であるか。	А		
	事業計画書どおりに事業が実施されているか。	Α		
	適切な情報提供及び利用者増のための広報活動は行われているか。	Α		
C施設管理・体制	施設・設備の適切な保守管理及び安全確認はされているか。			
	施設全体が清潔で良好な状態に保たれているか。	Α		
	備品台帳に基づいた適切な備品管理がされているか。	Α		
	市や関係団体との連携は適切に行われているか。	Α		
	指定管理者との連携に関する取組(詳細記述欄) 【実地調査実施日: 2月	17日】		
	随時(ほぼ毎日)電話等で連絡や相談を受ける等、連絡を密にしている。			
	緊急事態に備えた体制、マニュアル等は適切か。	Α		
	個人情報の管理は適切に行われているか。	Α		
	関係法令等はきちんと遵守されているか。	Α		
	情報公開規程が整備され、文書が適切に管理・保存されているか。	Α		
	協定書等で定められた事業計画書や報告書などはきちんと提出しているか。	Α		
D収支等	指定管理業務に関する経費と他の経費を区分し、適正に管理しているか。			
	管理経費削減に向けて努力されているか。	Α		
	収支計画書と比較して、収支状況は妥当であるか。	А		
	指定管理者団体の財政状況は安定した業務継続が可能な状態にあるか。	Α		
その他特記事項(説	思題のあった事項に関する今後の取組)			

< 評価基準>		< 総合評価>	
AAA (特に優良)	全国的に見ても先進・優良事例となり得る、非	AAA(特に優良)	全てがA以上であり、かつ各評価項目(評価項
	常に優れた管理が行われた。		目A~D)にAAAが1個以上ある。
AA(優良)	…協定事項や仕様書の内容、事業計画を上回る、	AA(優良)	全てがA以上であり、かつAA以上が5個以上で
	優れた管理が行われた。		ある。
A (良好)	…協定事項や仕様書の内容、事業計画に沿った、	A (良好)	…全てが A 以上である。 標準レベル
	良好な管理が行われた。 標準レベル		
B (課題有)	…協定事項や仕様書の内容、事業計画を下回り、	B(課題有)	…全てがB以上である。
	一部に課題がある。		
C (要改善)	…協定事項や仕様書の内容等を遵守しておらず、	C (要改善)	C が含まれている。
	早急な改善が必要である。		